

Nihongo Network News

1998.5.15発行

No. 18

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

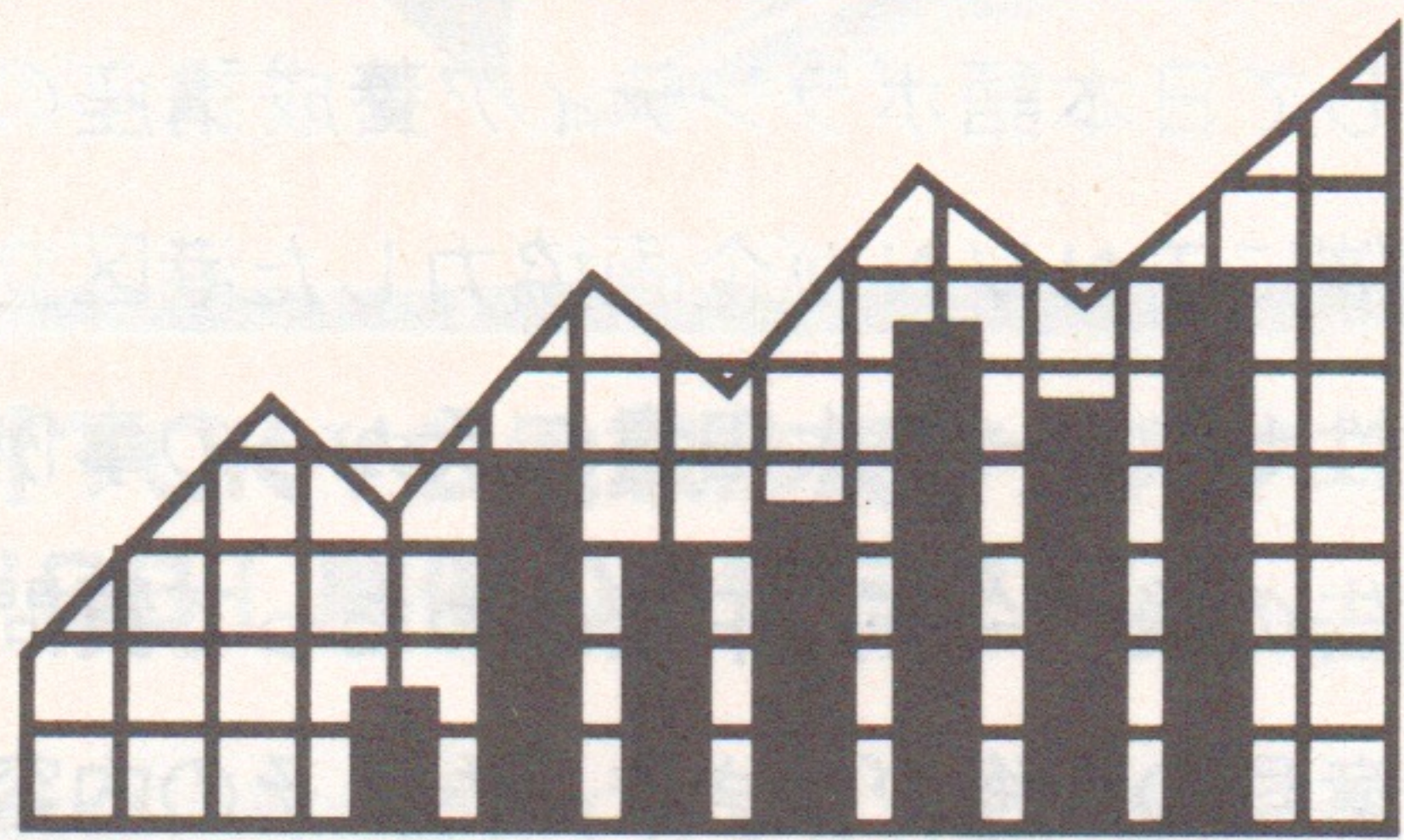
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・市民活動センター 気付 ☎03-3235-1171

「ボランティア日本語教室の現状と 日本語ボランティアの意識調査」

日本語ボランティアの今を伝える報告書が完成！

TNVNでは、東京都教育庁の社会教育関係団体に対する補助金を受けて報告書「ボランティア日本語教室の現状と日本語ボランティアの意識調査」の作成を行ってきました。これは、日本語ボランティア活動の現状を客観的データによって評価し、活動の活性化を図ること、さらに地域の人々や自治体関係者等に日本語ボランティア活動の現状を広く認知してもらうことを目的に企画されたものです。

すでに、昨年秋からTNVN会員団体や日本語ボランティアの方々にアンケート調査を実施してきましたが、そのデータを集計し、この3月に報告書を発行することができました。(A4版64ページ)この報告書は日本語ボランティア団



体や個人へのアンケート調査を中心に、次のような内容で構成されています。

- 1 ボランティア日本語教室の現状
都内で活動するボランティア団体を対象に教室の現状を調査。
- 2 日本語ボランティア意識調査
都内で活動する日本語ボランティア個人に対するアンケート。
- 3 日本語ボランティア講習会の現状
都内の行政機関・民間団体を対象に講習会の内容を調査。
- 4 ボランティア日本語教室の紹介
個々の日本語教室の活動を紹介する

原稿。

5 私の意見

学習支援者と学習者それぞれの立場からの日本語ボランティアへの意見。

報告書にはTNVN会員はもとより、それ以外の日本語ボランティアに関するデータも含まれていますので、今後の活動にお役立てください。

意識調査への回答、寄稿、データの集計作業等、多くの皆さまのご協力に感謝いたします。なお、この意識調査報告書は、すでにTNVN正会員(団体)をはじめ、各自治体・関連機関等に配布しましたが、内容・入手方法等に関するお問い合わせはTNVN事務局までお願いいたします。

「東京ボランティアセンター」から 「東京ボランティア・市民活動センター」へ

TNVNの事務局活動や入門講習会など、さまざまな活動のベースとなっている東京ボランティアセンターが、この4月より「東京ボランティア・市民活動センター」へと名称を変更。これまでのボランティア活動の推進の機能に加えて、多様な市民活動を支

援するセンターへと生まれ変わりました。
場所はこれまでと同様、飯田橋セントラルプラザ10階ですが、TNVNへ郵便物をだされる場合は気付名称にご注意ください。なお、電話番号・FAX番号には変更はありません。

「国際交流・協力 地域担い手セミナー」で 日本語ボランティア分科会を開催

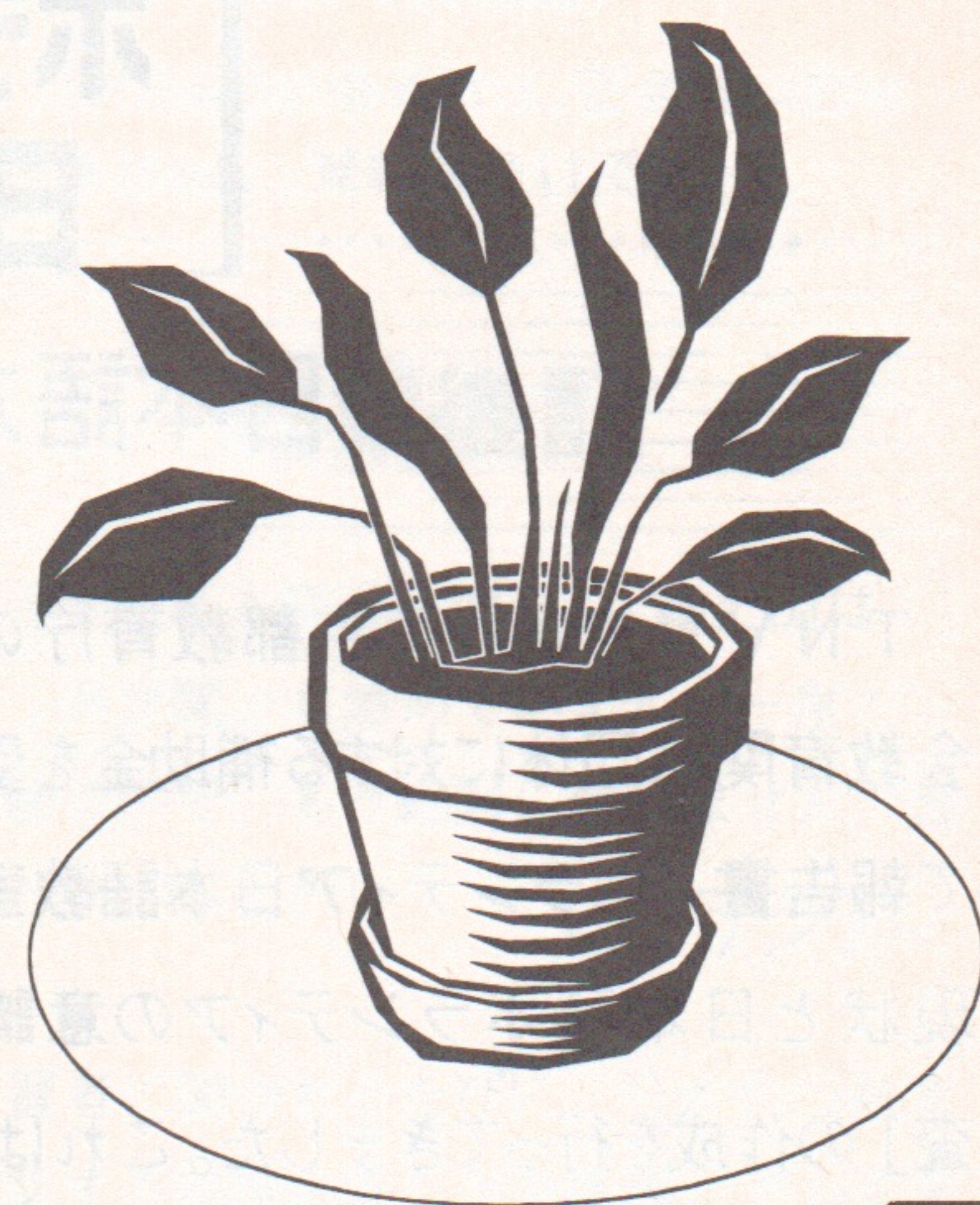
東京都が毎年開催している国際化推進指導者セミナーの第3部として「国際交流・協力 地域担い手セミナー」が、2月13・14日の2日間にわたって北区の北とぴあを会場に開催されました。このなかで、TNVNは14日(土)に「日本語ボランティアの課題と役割」と題する分科会を主催。当日は会場いっぱいの参加者で、活発な論議が交わされました。

自治体担当者と民間で活動する人々の情報交換と相互理解を目的としたセミナーであるだけに、自治体関係者の

参加や東京都外の近県からの参加者も多く、日本語ボランティアの広がりに関心の高さが実感されました。また、土曜日の開催であったためか、男性の参加者が目立ったことも印象的でした。

TNVN会員団体である「ことばのひろば(板橋区)」の大内多恵子氏、「日本語ともの会(北区)」の山本敬子氏、そして日本語ボランティア養成講座の開催にTNVNが企画協力した港区立女性センターの太田貴二氏からの事例報告の後、午前・午後にわたって質問や意見の交換が続きました。その内容

は、活動現場に関わる具体的なものがほとんどで、他団体との情報交換への関心の高さとネットワークの重要性を物語るものでした。



「さわやか国際交流 ボランティアのつどい」 幕張メッセで開催

財団法人千葉県国際交流協会主催による「さわやか国際交流 ボランティアのつどい」が、2月14日(土)幕張メッセ国際会議場にて開催。これは千葉県内の国際交流に関わるボランティアが情報交換を行うと共に、相互のネットワークを図ることを目的とするものでした。

午前の部は、「21世紀はボランティアの世紀」と題する衛藤瀆吉氏(前亜細亜大学学長)の講演で、午後の部は、4つの分科会が開催されました。TNVNからパネリストとして参加したの

は、分科会3「外国人と作る日本語教室」。ここでは、学習支援者と外国人学習者との意見交換を通じて、ボランティアと日本語教室の在り方を考えることがテーマでした。発表者の日本語講師である鶴岡真知子氏、日本語学習者の中村玲氏(中国)と長友ダイアン氏(米国)の現場の声を聞いた後、小グループに分かれて自分たちの地域活動での疑問や悩みを話し合いました。

この分科会には多くの外国人も参加して、ボランティアに対する率直な意見

を交換。一通り意見を出しあった後で全体発表をし、各々が抱えている問題などを討議しました。どの問題に対しても適切な解答などはなく、だからこそ「自分たちのグループだけで話し合うのではなく、他のグループと交流を持ち、互いの問題をぶつけ合えるようなネットワークを作りたい」ということで、参加者の気持ちはひとつにまとまったようでした。予定時刻が過ぎても次々と意見が出され、冷めやらぬ熱気の中、この日の分科会は終了しました。(橋本佳子)

在日外国人生活情報誌編集長シンポジウムで 分科会をコーディネート

T N V Nでは、2月26日(木)に国際交流基金国際会議場において開催された「第4回 在日外国人生活情報誌編集長シンポジウム」に協力。クロスカルチャーをテーマとする分科会をコーディネートしました。このシンポジウムは在日外国人情報誌連合会(EMPC)の主催によって毎年開催されているもので、「在日外国人のライフデザインと日本との共生」が今回のテーマでした。

この日はまず、同連合会が実施した在日外国人と日本人の生活意識調査の

結果の発表からスタート。続いて、在日外国人の諸問題についての実態考察と外国人と日本との共生のあり方をどう捉えるかというテーマの全体会、さらに「エスニック文化の形成」というテーマで武蔵大学の白水繁彦教授によるミニ講演会と続きました。

この後、休憩をはさんで「ライフ&ファミリー」「ソーシャルプログラム」「メディア&インフォメーション」「クロスカルチャー」の4つの分科会に分か

れて話し合い。T N V Nで担当したクロスカルチャー分科会でも活発な論議が行われ、日本人と外国人の相互理解の重要性や異なるものを認め合うためには意識改革が必要だという意見が交わされました。



はんのう日本語クラブ(埼玉県飯能市)で 日本語ボランティア講座の講師をつとめて

3月初旬、きれいな川と静かな環境の埼玉県飯能市に招かれ、日本語ボランティアの講座をもつ機会に恵まれました。「恵まれた」と表現したのは、それがかつて経験したことのない素晴らしい内容であったからです。組織運営の確かさ、活動に関わっている人々の心の広さ、そして講座の依頼内容。日本語ボランティア関連の講座と言えば日本語教授法であったり、外国人との接し方など異文化理解的な内容が多いと思われませんが、ここでは自分たちの活動がどう役立っているかという評価もカリキュラムに組み込まれていました。「行動の後に評価あり」と言うもの

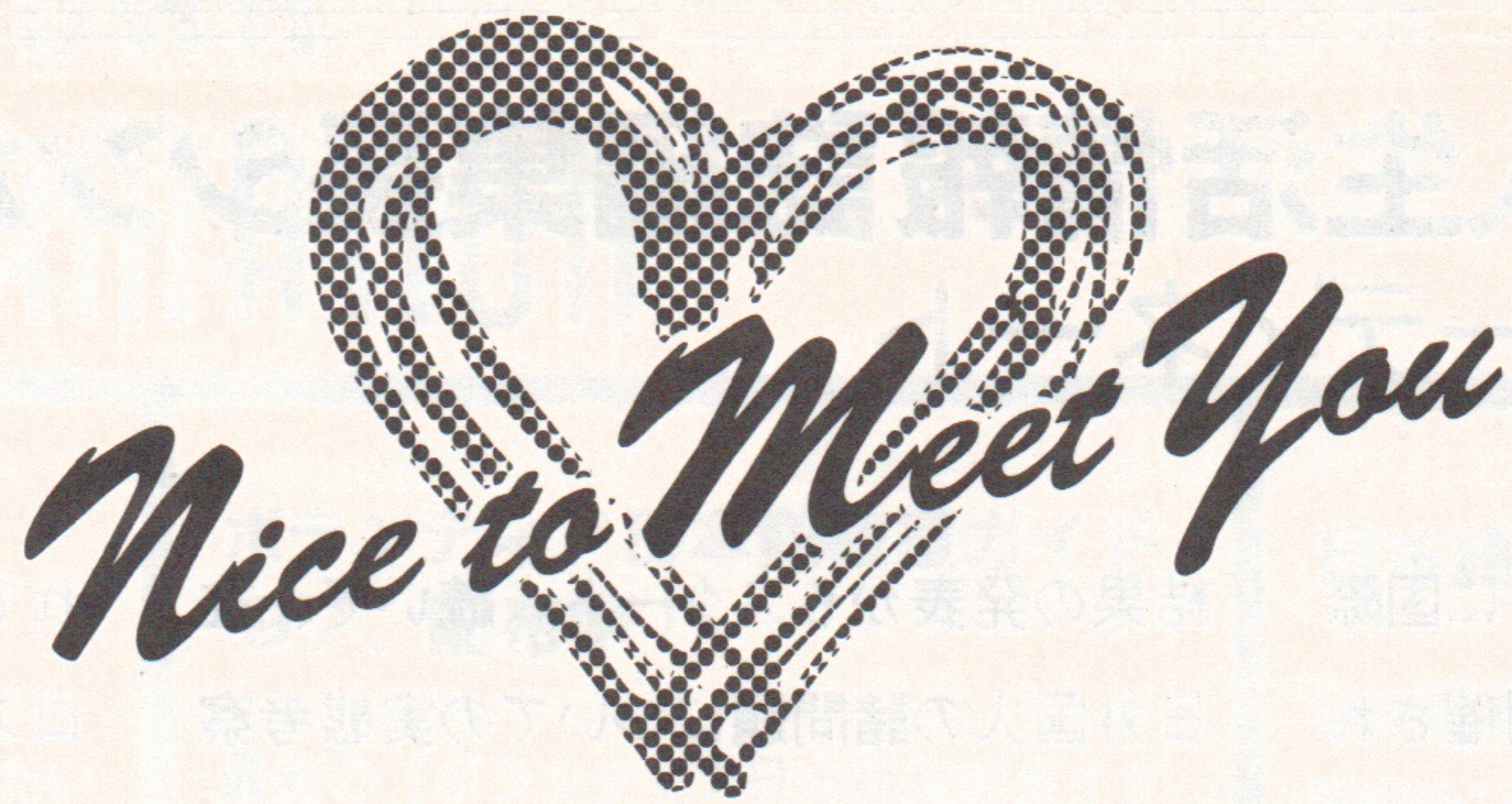
の、その評価を積極的に求め、さらに検討を重ねて活動の向上につなげていくということです。

当初、送られて来た資料を見て驚いたことは「いつ」「どこで」「何をしたか」「どうだったか」など、無駄のない有意義な活動に結びつけるための記録がまとめられていたことでした。このような記録があれば、今後さまざまな場面に柔軟に対応できる力になるであろうと感じました。

また「はんのう日本語クラブ」主催の講座であるにもかかわらず、地域・学習者など共通性のある近隣(入間・日高・狭山など)にも声をかけ、それぞれ

の市や日本語ボランティアとの交流にも努めていました。講座では、ボランティアとしての個人の意識の持ち方・心構えなど、私の話に熱心に耳を傾けてくださり、質疑応答も活発に行われました。

ここでの活動は、自治体からの助成金があったり会場の確保が約束されていたりするなど、東京都内と比較すると恵まれた条件のもとで活動している教室と言えるでしょう。しかし、自分たちの活動に自信を持ち、ボランティア活動啓発にも気配りをしている様子がうかがえ、効率よい活動で小さいながらも「実」のある活動に頭が下がる思いでした。(中田 紀子)



日本語ってどんなことば?

市川ユネスコ協会日本語教室 (市川市)

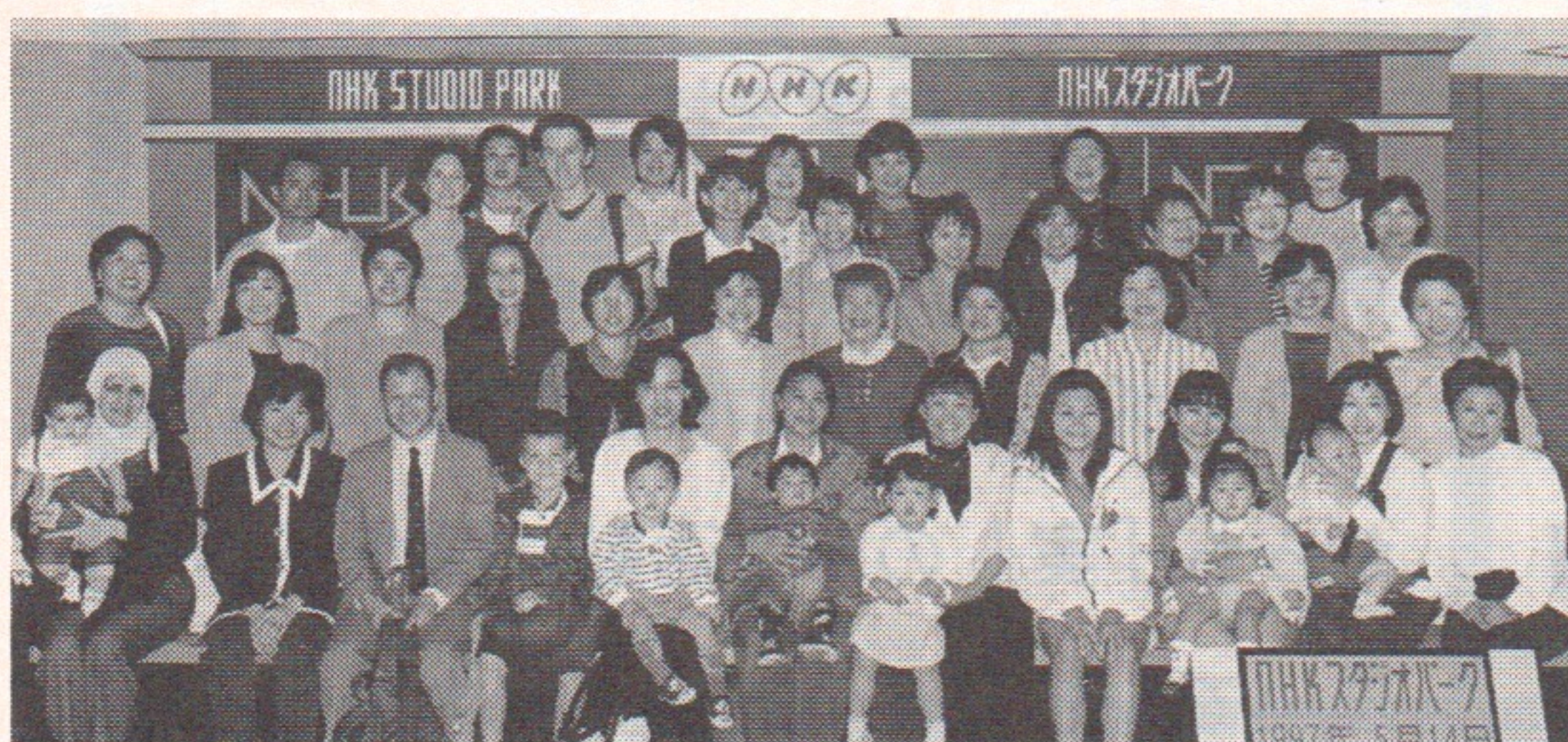
(市川教室) 谷村 喜代子
 (本八幡教室) 石井 勢津子
 (行徳教室) 竹内 久美子

私たちの日本語教室は1992年10月、養成講座を修了したメンバーを中心に設立されました。初めの頃は、学習者1人に対し講師が2人つくほど余裕がありましたが、口コミで徐々に広まり、現在は市内3つの地域で約80名の学習者と50名の講師が勉強しています。市川市の外国人登録者は約8000名。市民の7人に1人が外国人です。また、すぐ隣りが東京都という立地のためか、江戸川区、葛飾区からも通ってきています。

学習者は、中国・タイ・韓国・フィリピン・マレーシアなど東南アジア出身の日本人の夫を持つ主婦や、イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリア出身の英語教師、そして医系大学の留学生に日系人とまさに多民族で、教室内はいつも活気にあふれています。特に市川教室では、専属の保育ボランティアが保育ルームで学習者の子どもの面倒をみており、好評です。

一週間に2時間程度の活動ですが、講師・学習者ともに人数も増え、これまで継続してこられたのは、講師も学習者も皆熱心に勉強し、和気あいあいとやっているからだと考えます。ボランティアとしてできることには限りがありますが、日本という異国での暮らしがより安全に

たると願っています。



小さなクラスならではの楽しい交流。

青山日本語クラブ (港区)

前田 恭子

「ボランティア日本語教室の一番の問題は会場の確保」TNVNの取材記事が掲載された新聞を見



たカルチャー教室の経営者の方から、会場を提供したいという申し出があったのは'96年2月のことでした。そこで、教室が空いている毎週火曜日に部屋をお借りしてさっそくボランティア日本語教室を開こうということで、青山日本語クラブが結成されました。

メンバーは、すでに他のボランティアグループで日本語を教えていた仲間がほとんど。すでに会場が確保されていたという幸運なスタートだったこともあり、現在まで大きな問題もなく、楽しく活動を続けています。

クラスをスタートした当初はすぐには学習者が集まらず、毎週なにをしに来ているんだろうと思うようなこともありました。しかし今では、青山という土地柄から近所に在住の方々や、また交通の便がよいことから都外からもさまざまな国籍・職業の学習者が青山へ通っていて、バラエティゆたかなメンバーでクラスはにぎわっています。

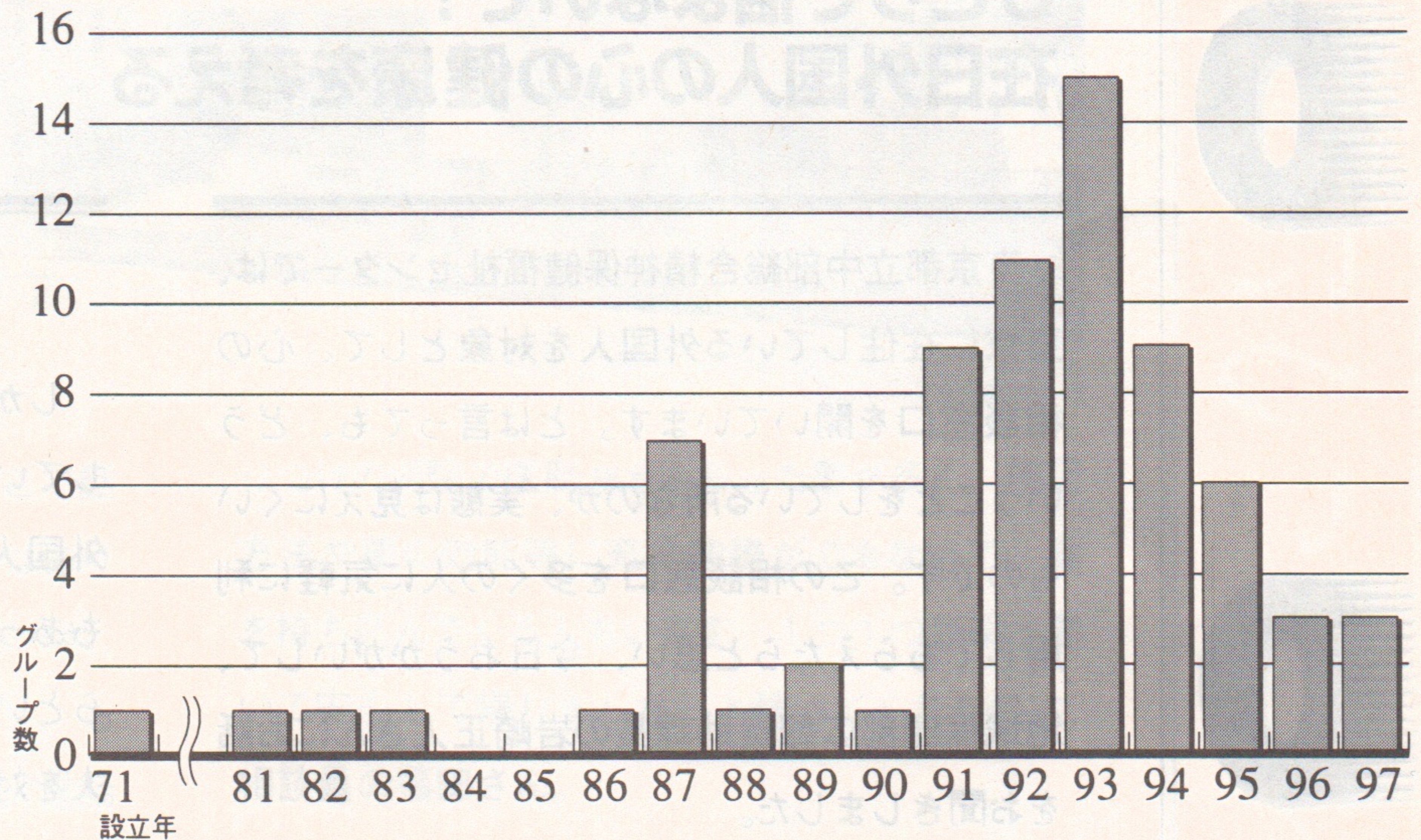
また、日本語教室以外にも、部屋を提供してくださっている花衣アカデミーのご協力で学習者に着物の着付けをしていただいたり、夏には浴衣で花火を見に行ったり、みんなで食事や買い物に行ったりと、少人数のクラスならではの交流を楽しんでいます。

データに見る日本語ボランティア

TNVNでは、東京都内の日本語ボランティアに対するアンケート調査を実施し、この3月にその結果を「ボランティア日本語教室の現状と日本語ボランティアの意識調査」報告書として編集・発行しました。今回はその報告書のなかから、日本語ボランティア団体に関するデータをご紹介します。

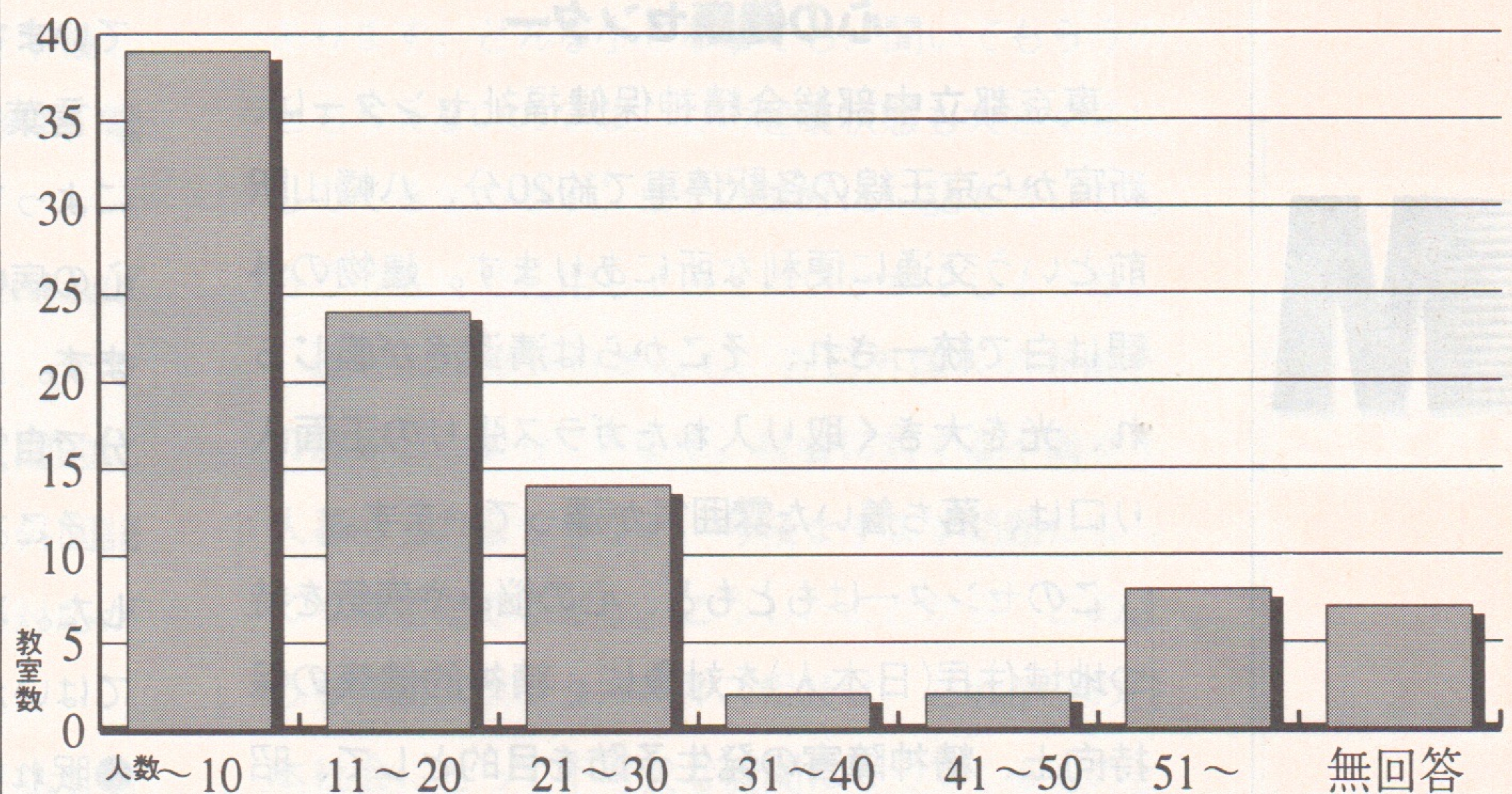
●日本語ボランティア団体の設立年

設立の年は'71年から'97年までとさまざまですが、過去10年以内に設立された団体が大多数を占めています。とくに'91年から'95年に集中し、バブルによって東京在住の外国人が増加したこと、さらにバブル崩壊の時期に重なることは、日本語ボランティアに対するニーズのあり方を物語るものと言えます。



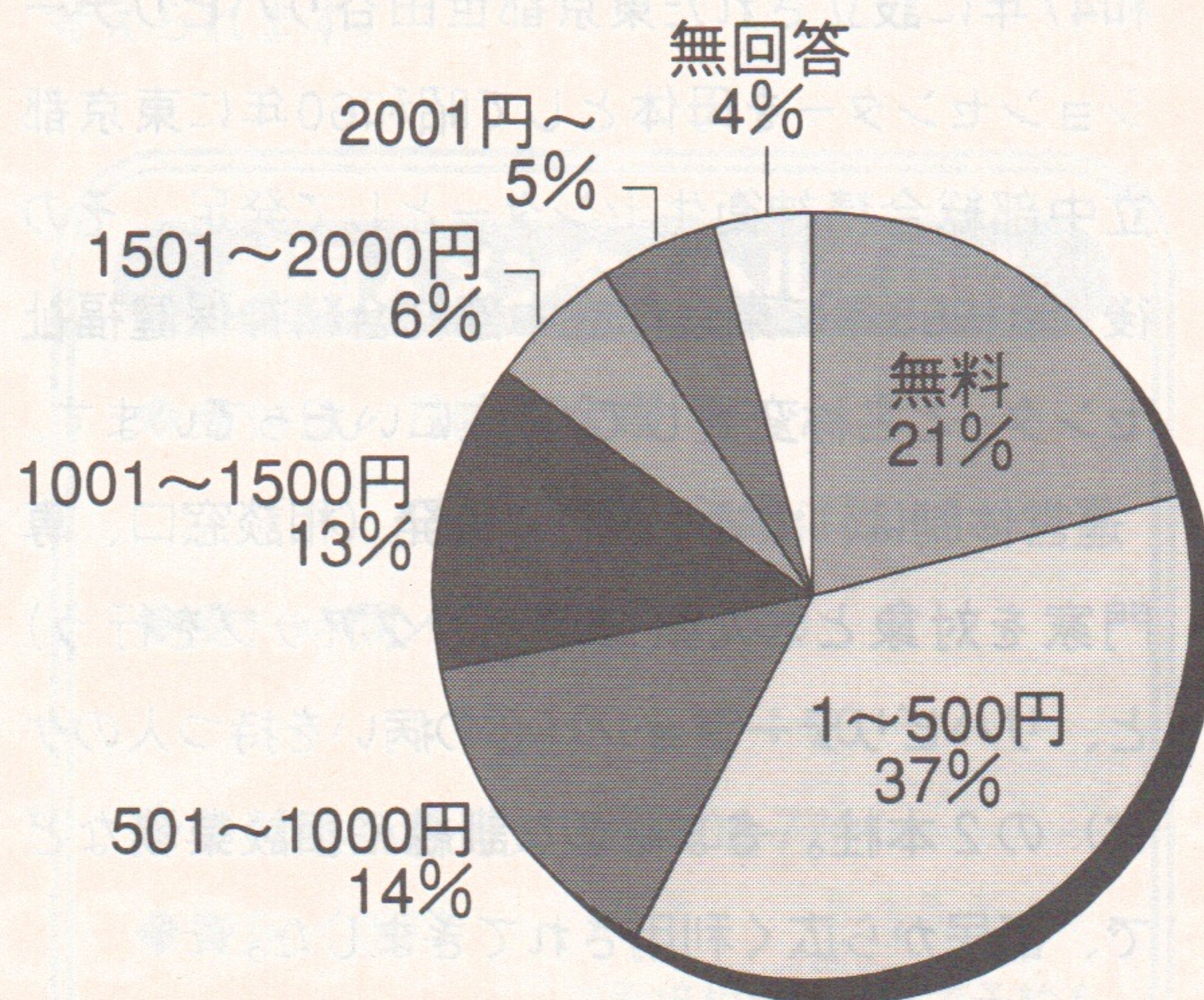
●日本語教室のボランティア数

1団体の学習支援ボランティアの人数は、10人以下が半数近くという結果でした。比較的小人数の団体が多いことがわかり、このことは会場となる施設のスペース等による制約もあることが想像されます。



●学習者の会費（月額換算）

学習者の会費は無料が21%、月額500円以下が37%もあり、1000円以下の団体が7割を越えています。一方、学習支援ボランティアの講師料や交通費は支払われない団体が大部分であり、このことが低額の会費での団体運営を支える要因となっていると言えるでしょう。



東京都立中部総合精神保健福祉センター

東京都世田谷区上北沢2-1-7

電話：03-3302-7575(代)

ひとりで悩まないで！ 在日外国人の心の健康を考える

東京都立中部総合精神保健福祉センターでは、東京に在住している外国人を対象として、心の相談窓口を開いています。とは言っても、どういことをしている所なのか、実態は見えにくいものです。この相談窓口を多くの人に気軽に利用してもらえたらと思い、今日おうかがいして、地域保健部広報援助課長の岩崎正人さんにお話をお聞きしました。

都民のために設立された 心の健康センター

東京都立中部総合精神保健福祉センターは、新宿から京王線の各駅停車で約20分、八幡山駅前という交通に便利な所にあります。建物の外観は白で統一され、そこからは清潔さが感じられ、光を大きく取り入れたガラス張りの正面入り口は、落ち着いた雰囲気があります。

このセンターはもともと、心の悩みや病気を持つ地域住民(日本人)を対象に、精神的健康の保持向上、精神障害の発生予防を目的として、昭和47年に設立された東京都世田谷リハビリテーションセンターを母体として昭和60年に東京都立中部総合精神衛生センターとして発足。その後、昭和63年に東京都立中部総合精神保健福祉センターと名称変更して、現在にいたっています。

運営体制は、大きく分けて啓発(相談窓口、専門家を対象とした研修やバックアップを行う)と、リハビリテーション(心の病いを持つ人のケア)の2本柱。さまざまな訓練や相談業務などで、都民から広く利用されてきました。

異文化の中で生まれる ストレス

しかし、現在、日本には多くの外国人が在住しています。江畑敬介所長が中国帰国者や在日外国人の精神面での問題に造詣が深かったこともあって、そんな彼らにもぜひ利用してもらえたらということから、1997年10月1日、在日外国人を対象とした「外国人メンタルヘルス相談」窓口を併設しました。ここでは主に、精神保健・医療上の問題で困っている人の相談を受けつけています。

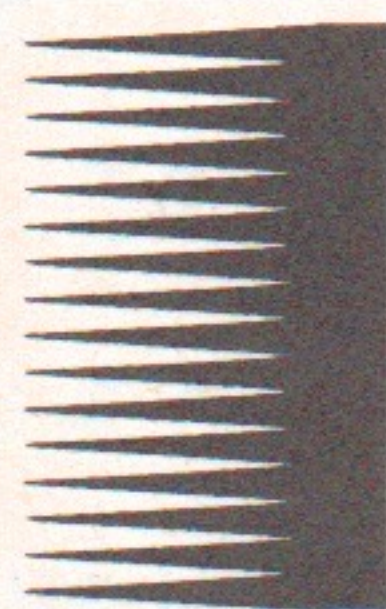
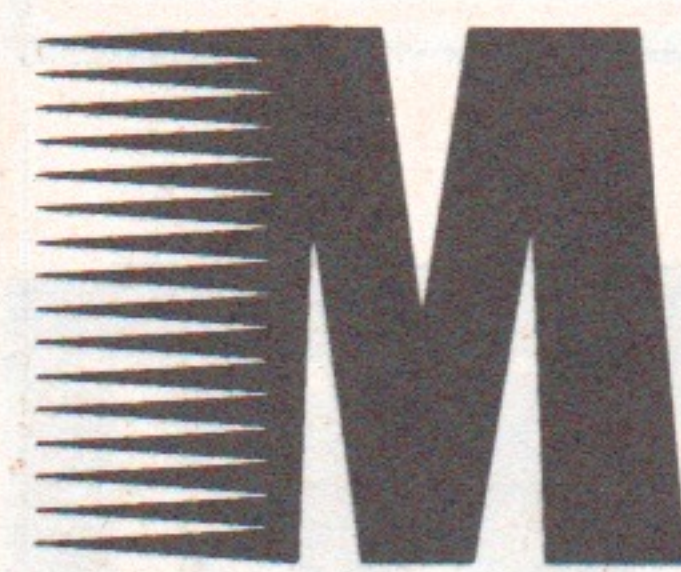
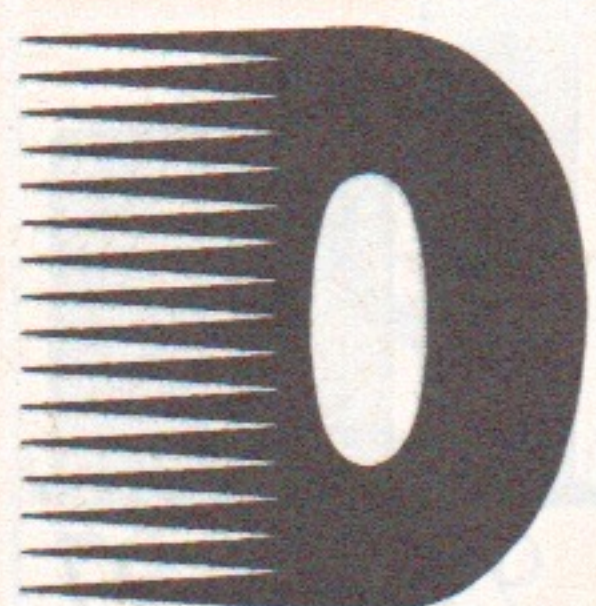
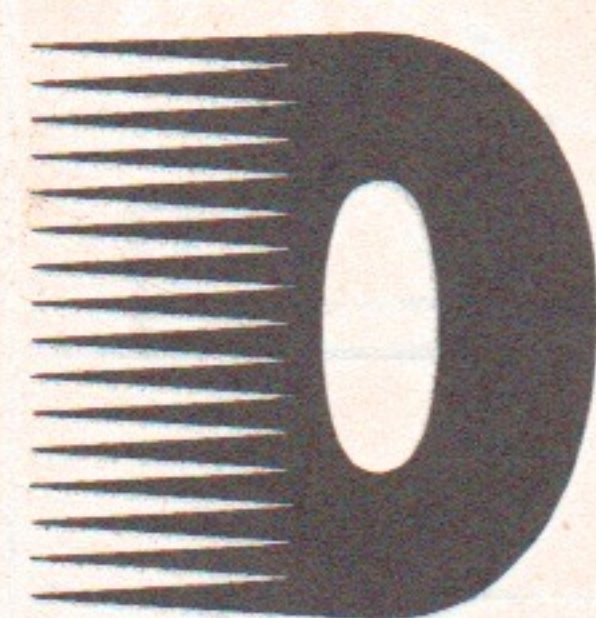
言葉や習慣の違う異文化の中で生活することによって生じる、悩みや心配事が原因となって、心の病いにかかる外国人がかなり多くいるといいます。しかし実際、心が不健康であるなどと、自分で自覚する人はたいへん少ないそうです。

そこでSOSのサインの目安をお聞きしてきました。次のことに心当たりがあれば、相談してみてもいいでしょうか。

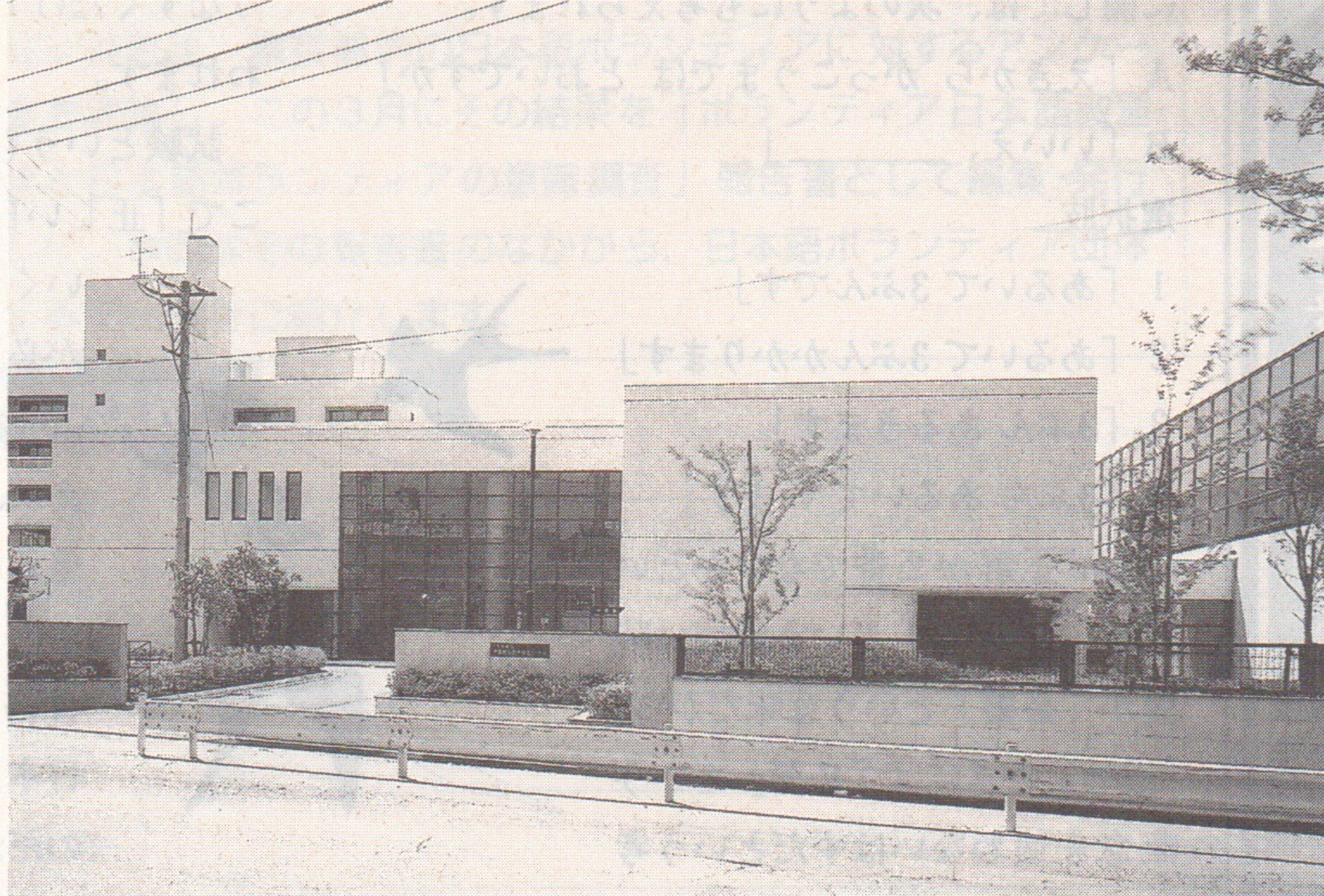
- 眠れない日が続いている
 - 毎日、イライラ過ごしている
 - 気持ちがゆううつでしかたがない
 - 周囲から監視されていたり、後をつけられている気がする
- など。

細かい配慮がなされている 相談窓口

対応にあたってくれる相談窓口スタッフは、医師をはじめとし、精神科ソーシャルワーカー、心理・保健婦などの専門家です。



(写真提供/東京都立中部総合精神保健福祉センター)



相談方法は、電話相談と面接相談の2種類があり、面接相談は事前に電話で予約が必要とのことです。

相談費用は無料で、ここで話されたことは全て、公言されるようなことはありません。もちろん個人のプライバシーは守られ、相談上必要のないことは一切聞かれないし、もし話したくなければ話さなくていいのです。電話で医師と話したい場合は、午前中のみ当番制で医師が窓口対応に当たっているのので、直接話しをすることもできるそうです。もし電話を午後してしまっても、医師がセンターにいる場合は、電話をまわしてもらえます。

相談することで、少しでも悩みが解消されればという思いで始まった在日外国人窓口も、今では月に2回、第2・4木曜日の午前、定期的にかかれるようになりました。現在のところ外国語は英語のみの対応ですが、今後は各言語対応ができるように、現在検討中とのことです。

もし間違えて心のケア以外の問題で電話をしてしまっても、職員のわかる範囲内で、親切に問い合わせ先機関を紹介してもらえます。そして心のケアということで、希望があれば同性の職員が対応してくれるという、細かい配慮もなされています。

話すことで ストレスを解消

「センターに相談を持ち込んでくる前に、多くの人は肩に力が入り、身構えてしまいがちです。でも実際に相談を訪れる人の中には、かか

りつけの病院で医師からもらった薬が多く、使用方法や薬の効能等に充分納得ができないで、薬を持ち込んでくる人もいます。1つ1つ説明を聞いて安心して帰りました」と語ってくれたのは、相談員の福田さん。

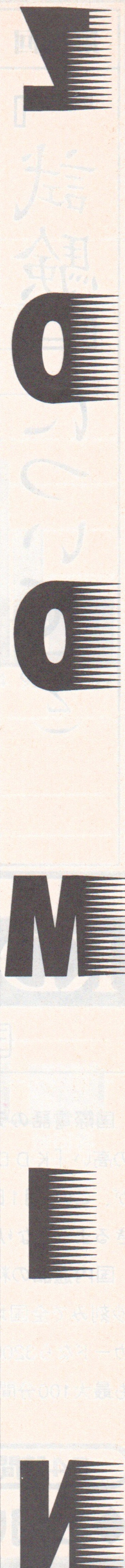
こうしたちょっと気になったことでも、重なっていけば大きなストレスになってしまうこともあります。どんな小さな事でも、聞いてもらうのともらえないのでは、心の健康状態も大きく変化してくるものです。まずは気軽に、話をきいてもらうつもりで利用してみてもいいのではないでしょうか。

遅かれ早かれ日本にも、在日外国人の高齢化の波がおしよせてきます。社会に対する不満や1人暮らしの寂しさなど、今後ますます問題になってくることでしょう。こうしたことから、このような外国人メンタルヘルス相談は、これからの日本社会にとって不可欠な機関になってくるものと考えられます。

外国人メンタルヘルス相談

- ◆受付日/月曜～金曜
(祝日、年末年始は除く)
- ◆受付時間/9:00～12:00
13:00～17:00
- ◆受付電話番号/03-3302-7711
- ◆費用/無料

※面接相談は電話で予約を



『試験』について(2)

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師 福田知行

前回の日本語能力試験の問題(以下に再掲)に関しては、次のようにも考えられます。

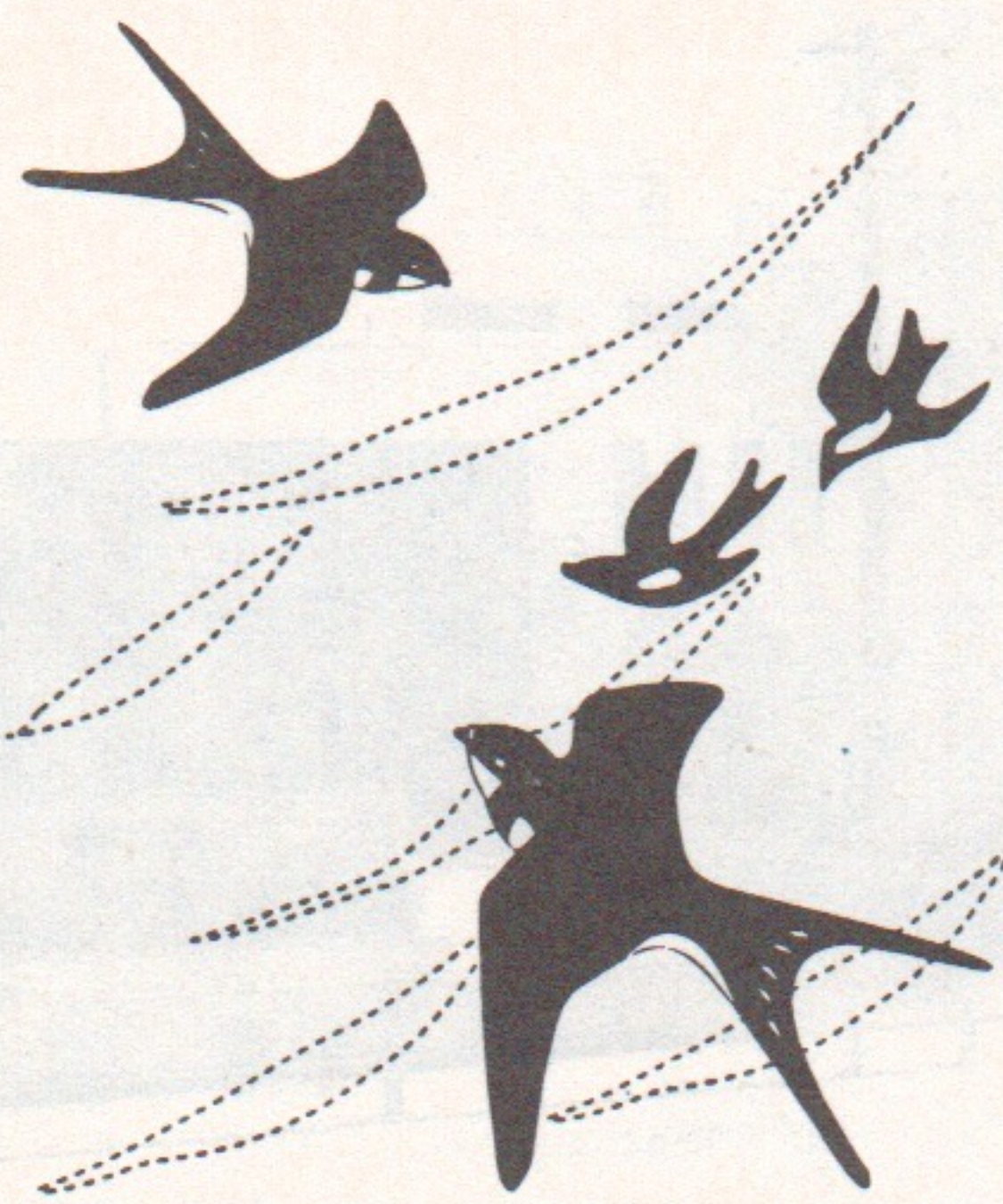
A「えきから がっこうまでは とおいですか」

B「いいえ、_____」

選択肢

- 1「あるいて3ぶんです」
- 2「あるいて3ぶんかかります」
- 3「3ぶん あるきます」
- 4「3ぶん あるいています」

なぜ正解が2番でないかというのと、「かかる」という動詞は時間が「必要」という意味だから、「近い」とときには「必要」という概念を使わないはずだという考え方です。しかし、前回も述べたように「歩いて3分です」は「歩いて3分かかります」の省略形とも考えられますから、前者が正解で後者が不正解だということに納得できない人も出てくるわけです。もっと簡単な例で言えば、「これは本ですか」に対する答えとして「はい、本です」ではなく「はい、そうです」だけを正しいとするのと本質的には同じことになります。「本」はもうわかっているから繰り返さない「はずだ」というのです。でも、それは表層的な言語観です。実際には状況によ



って、「はい、本です」と言う場合もあれば、うなずくだけで何も言わない場合もあると思われれます。

試験というものは「正解」が必要です。そこで「正しい日本語」というものが作られて

いくわけですが、本当にそんなものが必要なのでしょうか。

日本語ボランティアの立場から言えば、試験に合格させるために受験準備の手助けをするというのはどこか間違っているような気がします。合格しないと進学できなかつたり、日本語の勉強の励みになつたりするのだからいいじゃないか、という意見

もあります。それでも何か割り切れない部分が残ります。合格した人はいいが、合格しなかった人はどうなるのか。試験さえ受けられない人はどうなるのか。日本語を勉強する時間さえない人たちはどうなるのか。

つまり、なんのため、誰のためのボランティアかということです。もちろん、たまたま知り合いの外国人が試験を受けたいのでその手伝いをする、というのは何の問題もないと思います。問題は「日本語“ボランティア”」なのです。

KDDスーパーワールドカード

国内通話サービスがスタート!

国際電話のテレホンカードとして人気の高い「KDDスーパーワールドカード」が、この2月1日から国内通話にも利用できるようになりました。

国内通話の料金は、国際電話と同じ6秒刻みで全国均一料金です。3000円のカードなら3200円分で、日本国内どこでも最大100分間お話しいただけます。

カードの種類は1000円、3000円、5000円の3種類。日本全国のコンビニエンスストアで発売中です。

今すぐコンビニへ!!

24時間無料でサポート

◆お問い合わせは、局番なしの0057へ。



日本の常識

Common sense in Japan

魔可不思議！ 日本人の習慣を知ろう

日本には、日本固有のマナーがあります。ふだん気にしないでしていることが、本当は相手に対して失礼なことだったり、嫌悪感を与えたりしているかもしれません。そこでこのコーナーでは、日常日本人も見落としがちな“常識”について、考えていこうと思います。

Japan has its own unique form of etiquette. Things which Japanese do in everyday life without paying special attention might not only be very rude but also offend other people. Here, we would like to review the common sense which even we Japanese tend to ignore.

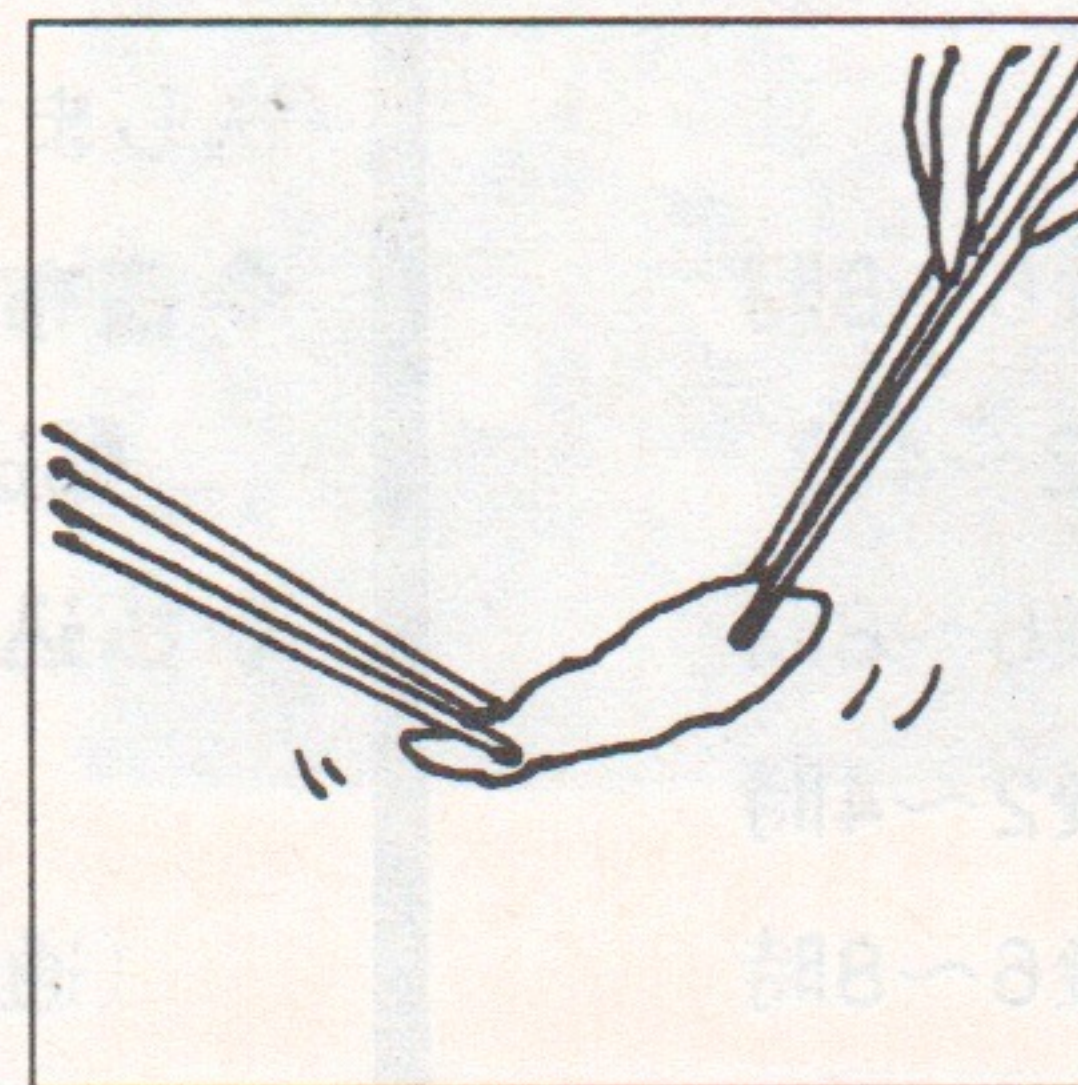
第1回 まちがった箸づかい

Section 1 Wrong way of using Chopsticks

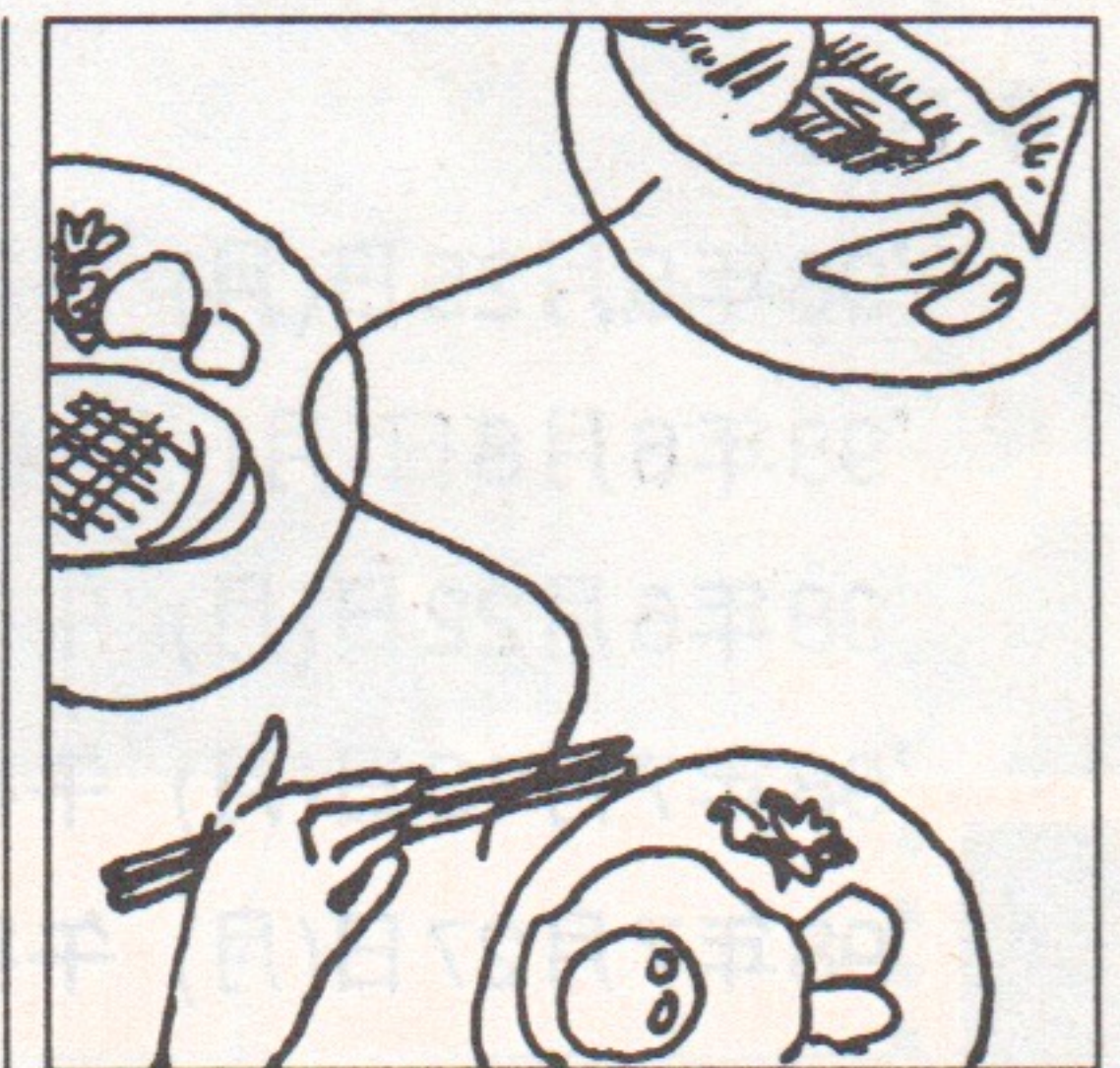
食事の時、必ずといっていいほど登場するのが、箸です。箸の使い方には、多くのタブーがあることを知っていましたか？ 自分の箸づかいを思い出しながら、使い方をチェックしてみてください。正しい使い方で気持ちよく食事をしたいものです。

We cannot avoid using chopsticks when we have meals in Japan. Did you know that there are many taboos for using chopsticks? The next time you eat, please check the proper way of using chopsticks and remember how you used to use them. We would like to have meals comfortably.

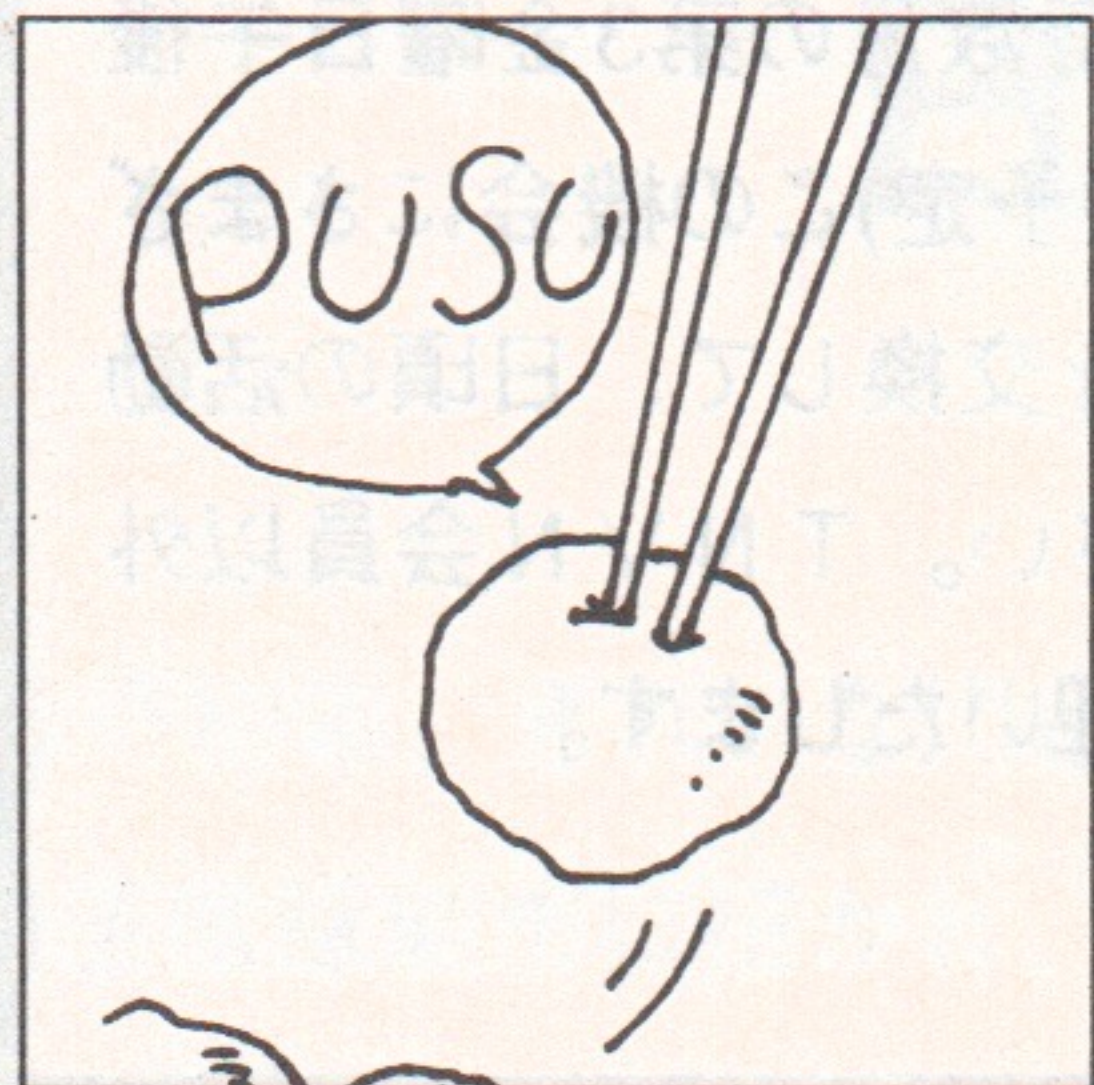
イラストレーション MARIKO MATSUO



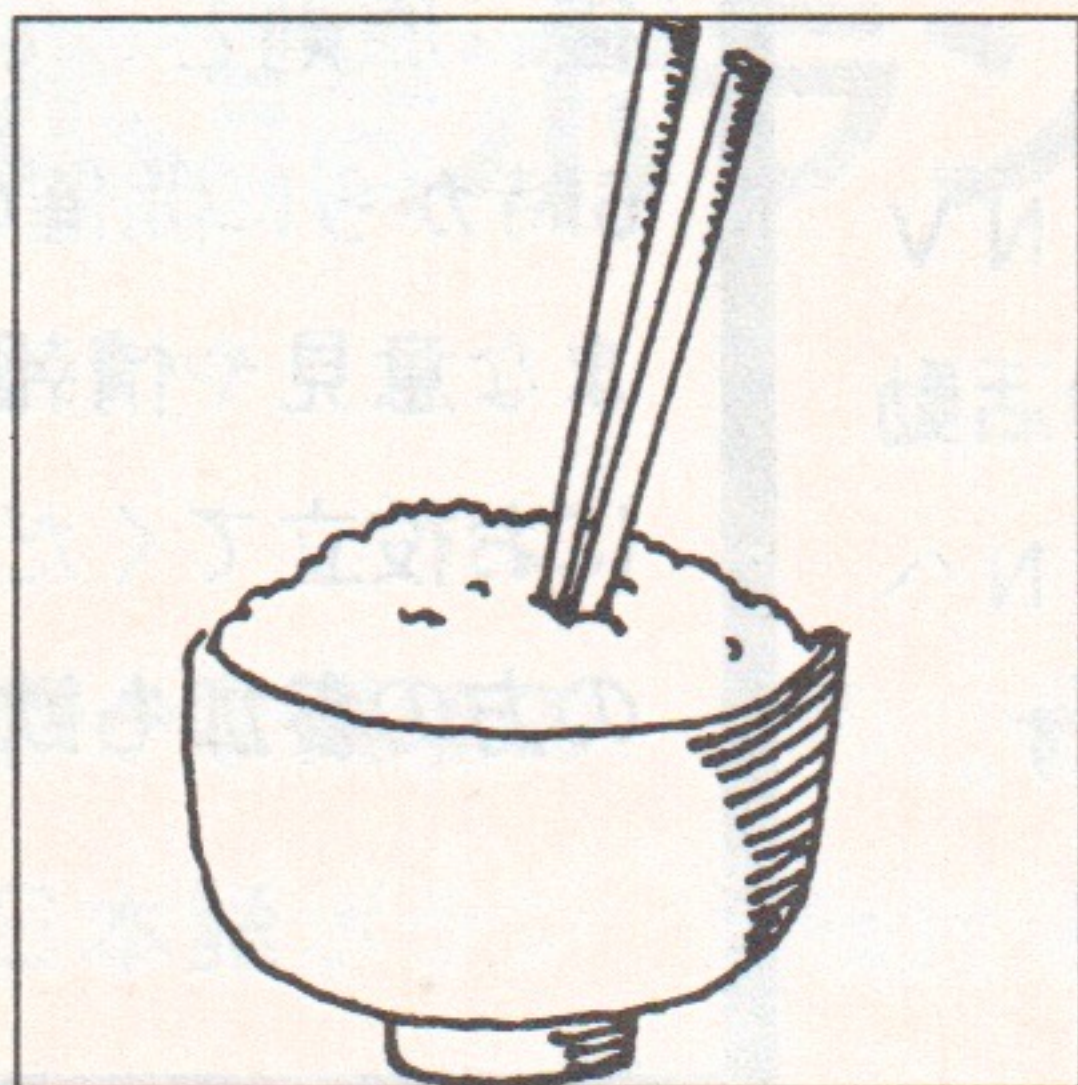
●拾い箸 *hiroi-bashi*
2人以上で、1つの料理を箸と箸でつまむ
More than 2 people picking up one food item using their chopsticks.



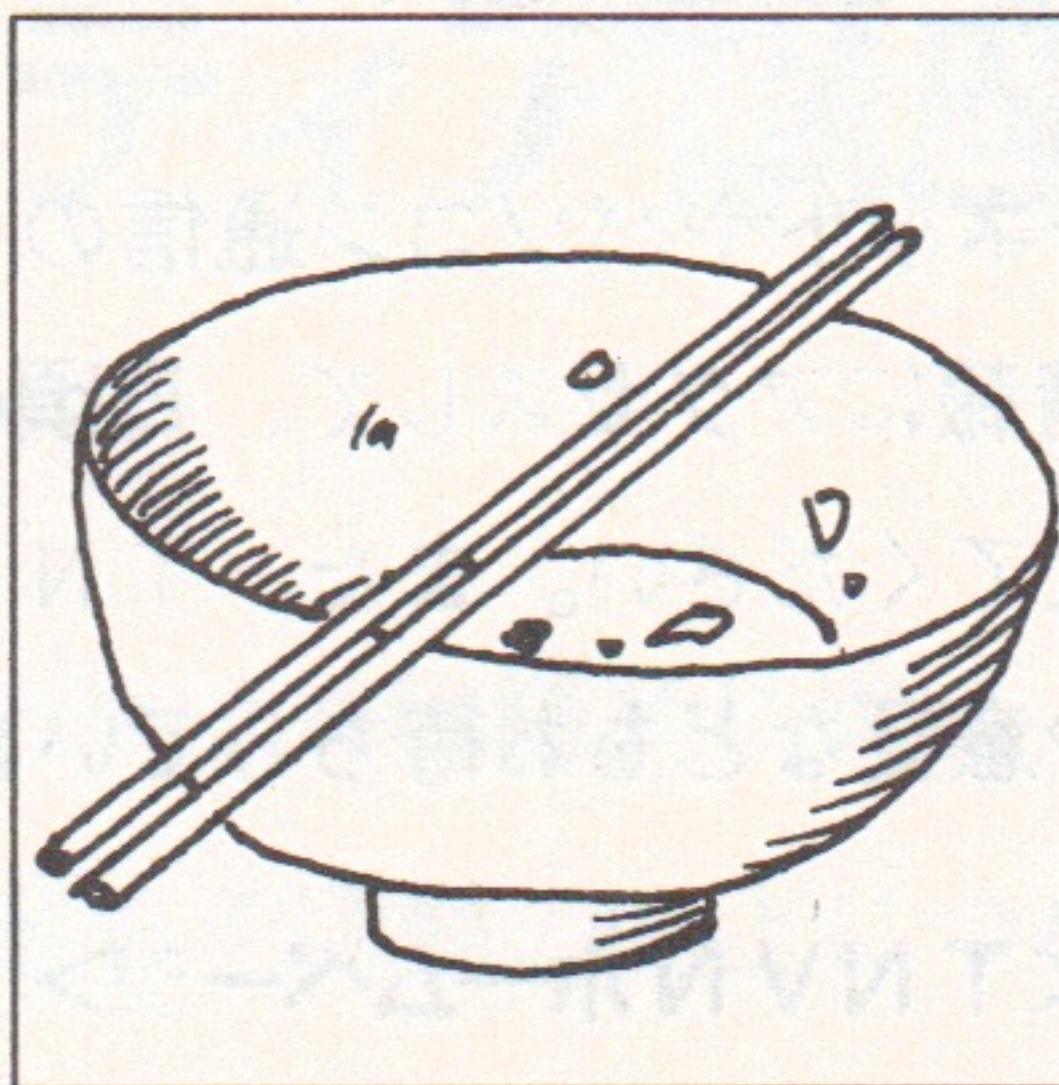
●迷い箸 *mayoi-bashi*
どれにしようか迷って、器の上で箸をウロウロさせる
Moving chopsticks around the dishes when you cannot make up your mind what to eat.



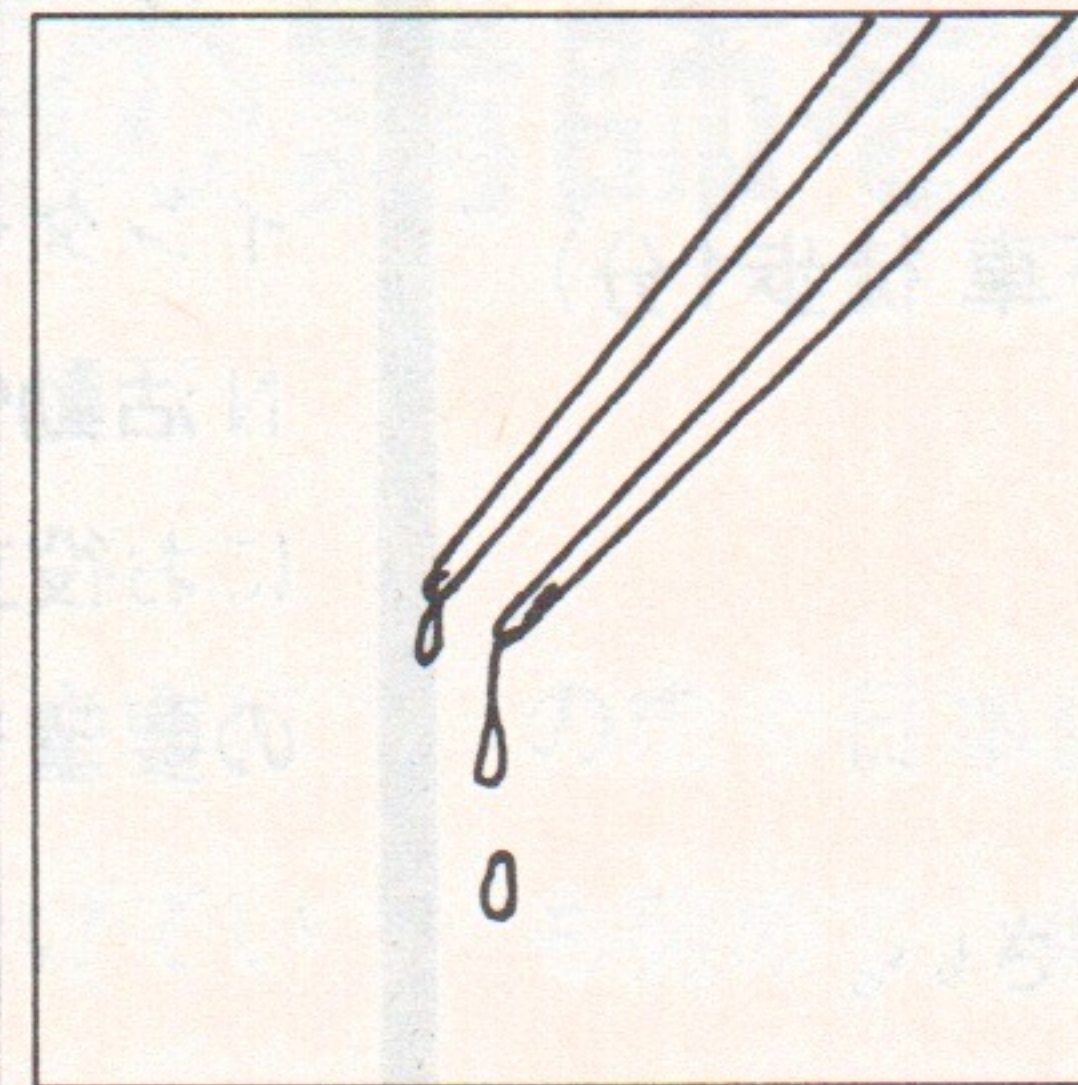
●さし箸 *sashi-bashi*
料理に箸を突き刺す
Sticking chopsticks through the food.



●仏箸 *hotoke-bashi*
御飯に箸を突き立てる
Sticking chopsticks through a bowl of steamed rice.



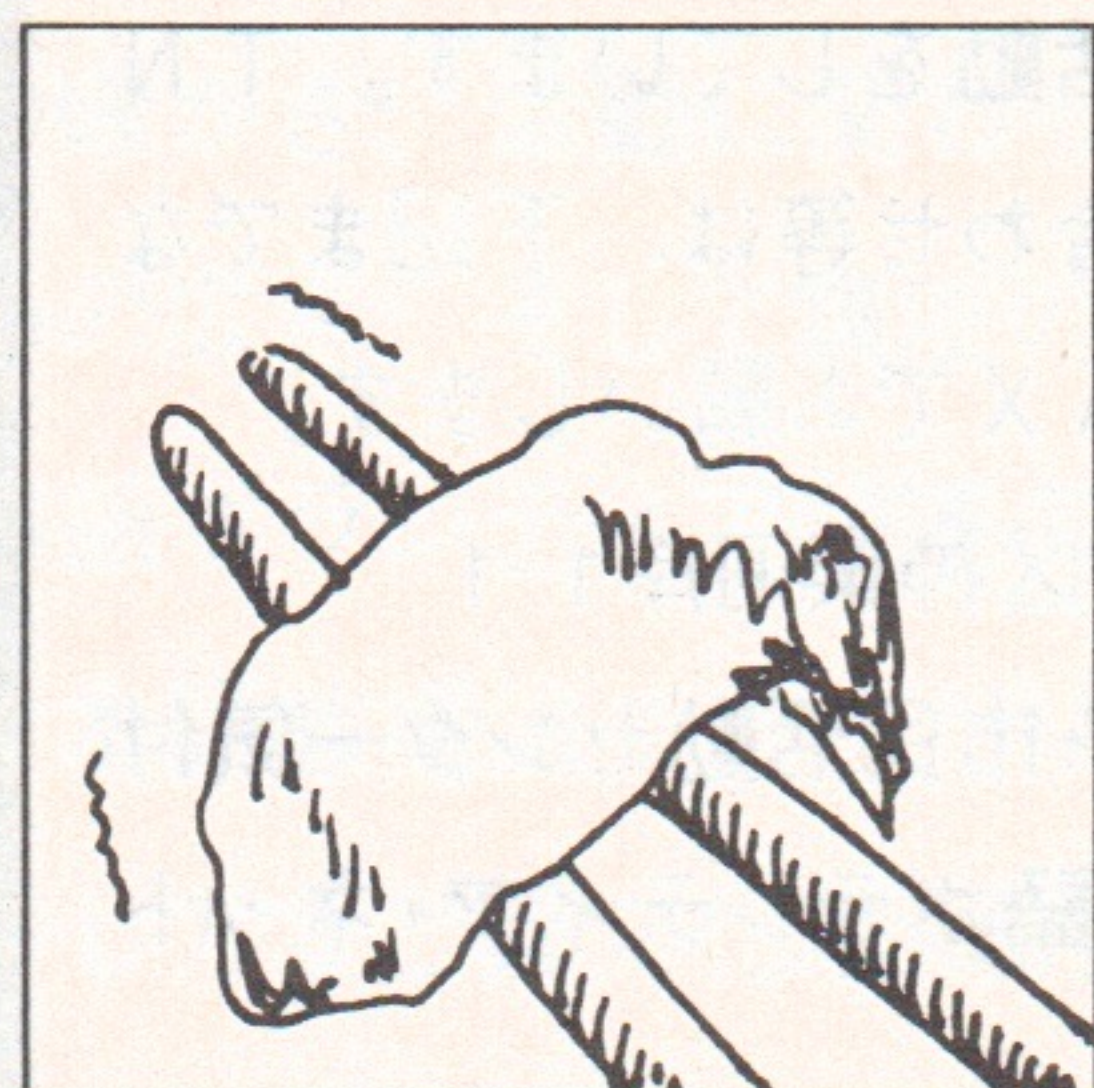
●渡し箸 *watashi-bashi*
器の上に箸を渡して置く
Leaving chopsticks on the plate.



●涙箸 *namida-bashi*
箸先からしずくをたらす
Dropping liquid from chopsticks.



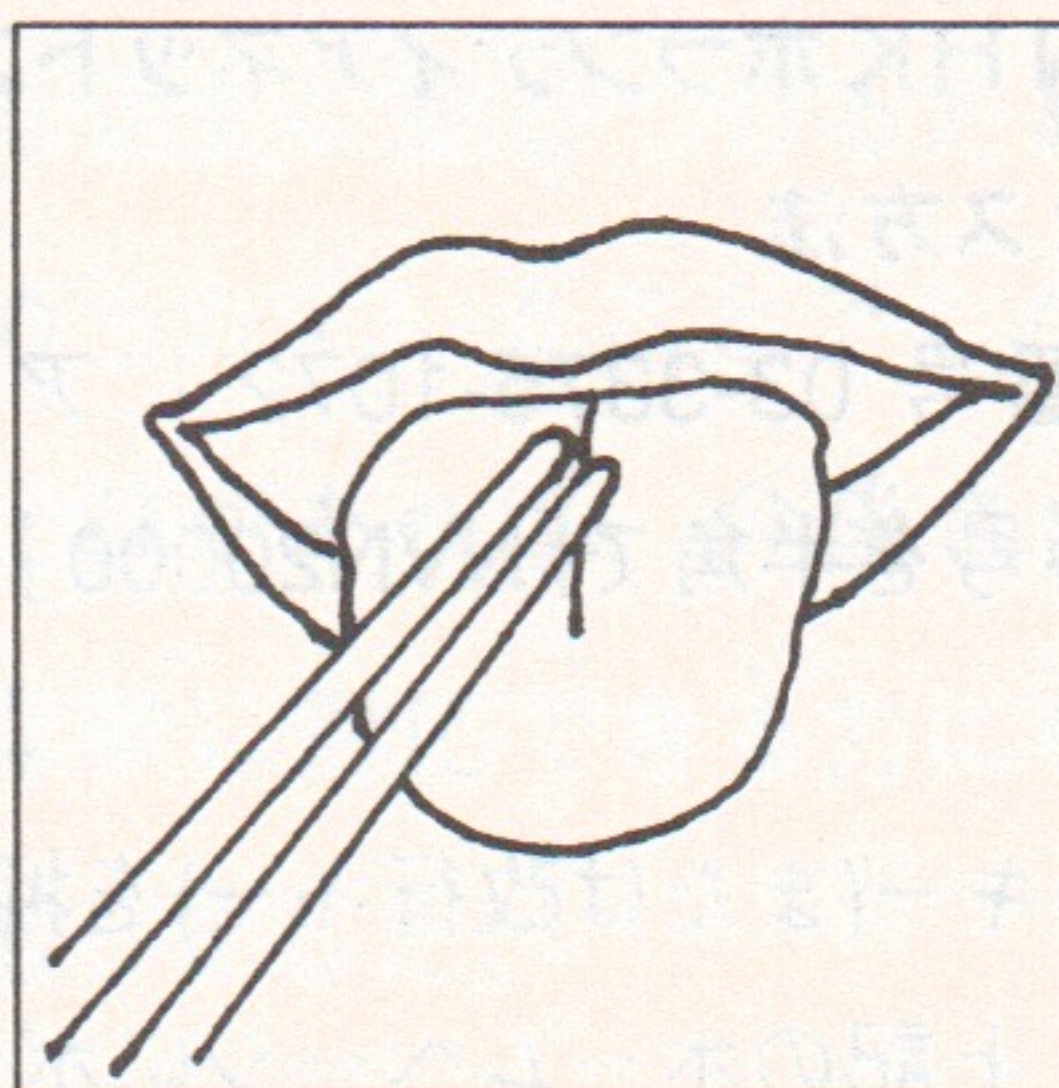
●さぐり箸 *saguri-bashi*
器の中の料理をひっかけ回し、中身をさぐる
Rummaging in the dish with chopsticks to see what it is.



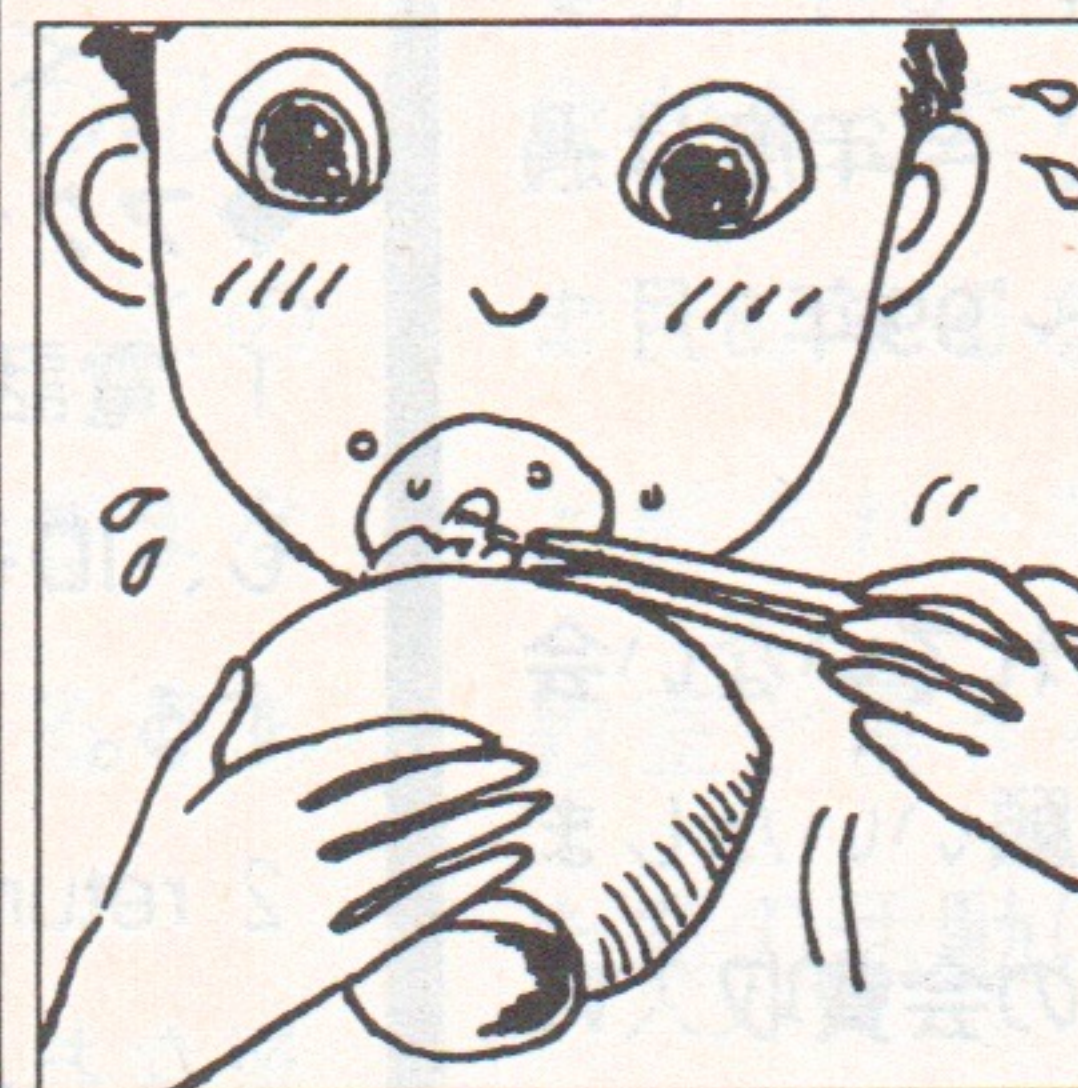
●横箸 *yoko-bashi*
スプーンのように料理をすくう
Spoonng up food with chopsticks.



●寄せ箸 *yose-bashi*
遠くにある器を、箸先で手前に引き寄せる
Drawing a dish towards you with chopsticks.



●ねぶり箸 *neburi-bashi*
箸先をペロペロなめる
Moistening the point of chopsticks on your tongue.



●かきこみ箸 *kakikomi-bashi*
器に口をつけてかきこむ
Putting a bowl to your lips to wash food down using chopsticks.



●せせり箸 *seseri-bashi*
箸先を楊枝代わりに、歯の掃除をする
Picking your teeth with chopsticks instead of a toothpick.

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア 入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。初めて日本語ボランティア活動に参加する方はぜひ受講してください。

どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

◆日時

- '98年5月25日(月) 午後6～8時
- '98年6月8日(月) 午後2～4時
- '98年6月22日(月) 午後6～8時
- '98年7月13日(月) 午後2～4時
- '98年7月27日(月) 午後6～8時

◆テーマ

- (5月) 学習者の現状
- (6月) 日本語ボランティア入門
- (7月) 日本語再発見

◆会場／東京ボランティア・市民活動センター 会議室

(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆参加費／1回 600円

(TNVN会員は300円)

◆参加申込み／

直接、会場へおこしてください。

TNVN会費納入のお願い

先日の総会においてTNVNの会計年度がこれまでの1～12月から4～3月へと変更になりました。そのため、今年度は過渡的措置として'98年1月～'99年3月までの15ヶ月となります。

新年度の会費をまだ納入されていない会員の方々は早急に納入をお願いいたします。TNVNの活動は会員の会費収入によって支えられておりますので、ご理解の上ご協力をお願いいたします。

ボランティア日本語教室ガイド '97、配布中！

最新の『ボランティア日本語教室ガイド'97』には、145クラスの活動情報を日本語と英語で掲載。あわせて、外国人のための情報源や相談窓口などのデータも掲載しています。ご希望の方は、東京ボランティア市民活動・センターの窓口へ直接おこしいただくか、郵便振替で料金をお払込みください。入金を確認次第、郵送します。

◆領布価格(実費)／1冊600円

郵送希望の場合は送料込み1000円

◆払込み先／郵便振替口座番号

00100-1-719259

(通信欄に「教室ガイド」と記入)

◆加入者名／

東京日本語ボランティア・ネットワーク

TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス！

インターネットやパソコン通信のTNVN活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、TNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

<TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆URL: <http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAILID: tnvn@t3.rim.or.jp

<NHKボランティアネット>

◆アクセス方法

1 電話番号 03-3375-1072 にアクセスし、ID番号を半角で「NVN20000」と入力する。

2 returnキー(または改行キー)を押す。

※なお、上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時／毎週月曜日 午後2～7時

◆会場／

東京ボランティア・市民活動センター

◆電話でご確認の上、おこしてください。

TEL: 03-3235-1171(呼出し)

ネットワーク情報交換会の お知らせ

今年度から新しく会員相互の交流の場として、ネットワーク情報交換会を開催することになりました。第1回は5月15日(金)午後6時から「ボランティアの定着」をテーマに開催。第2回は7月17日(金)午後6時から東京ボランティア・市民活動センター会議室において開催します。(今後、原則として奇数月の第3金曜日午後6時からに開催の予定)この機会にさまざまな意見や情報を交換して、日頃の活動にお役立てください。TNVN会員以外の方の参加も歓迎いたします。

TNVN事務局の連絡先

TNVN事務局は、原則として毎週月曜日午後1～8時に東京ボランティア・市民活動センターで活動をしています。TNVNへのお問い合わせ等は、下記までなるべく郵便かFAXでお願いします。

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター気付
TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL: 03-3235-1171

(呼出し/月曜日午後のみ)

FAX: 03-3235-0050

外国人相談研究会(仮称) のご案内

外国人を対象とした相談に関わる方々を中心に「外国人相談研究会(仮称)会議」を開催しています。今後も会議を開催していく予定ですので、活動に関心のある方は下記までお問い合わせください。

◆問い合わせ

定住外国人支援ネットワーク
山崎アレン美智子
〒187-0045
小平市学園西町2-7-13-102
TEL/0423-45-6358

「ザ カラオケ 歌える日本語テキスト」

日本のヒット曲270曲を収録した外国人のためのカラオケテキストが発売されました。漢字にはルビがふられ、ローマ字による歌詞も掲載。また、キーワードとなる言葉には簡単な英語訳もついているので、日本語学習にも使えます。

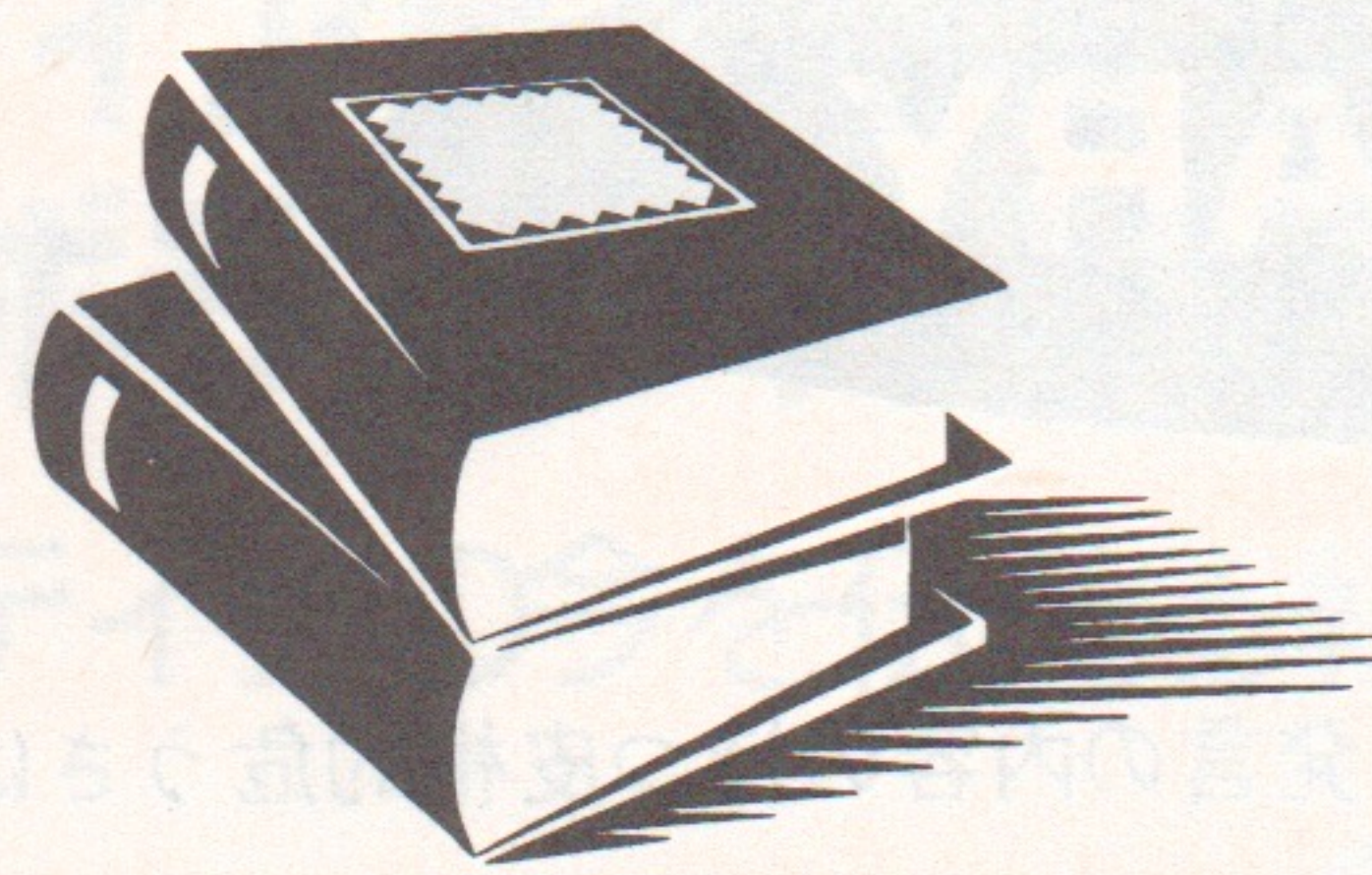
- ◆発行/大村書店
 - ◆企画・編集/ストーンフィールズ
 - ◆A5変形版 320ページ
 - ◆価格/定価1800円(本体)+消費税
 - ◆申し込み/TNVN事務局まで
(TNVN会員割引として、消費税と送料が無料になります)
- TEL: 03-3235-1171
FAX: 03-3235-0050



不要になった洋書、 寄付してください

ご家庭で不要になった洋書を、TNVNに寄付してください。回収した本は、古書店で日本語関連の本に交換し、希望の団体へ差し上げるようにしたいと考えています。洋書であればジャンルは問いませんが、ペーパーバック類は引き取っていただけないので、ご了承ください。

- ◆問い合わせ/TNVN事務局
(担当:橋本)



「TOKYO地球市民フェスタ '98」開催のお知らせ

昨年に引き続きTNVNも実行委員として企画に参加して「TOKYO地球市民フェスタ'98」が開催されます。国際交流・協力の活動をしている約70のボランティア団体やNGOが参加。TNVNも江戸博物館3階広場にブースを出展し、日本語ボランティア相談や資料配布をしますので、ぜひご来場ください。

- ◆日時/5月23日(土)11:00~18:00
5月24日(日)10:30~17:00
- ◆会場/江戸東京博物館 1階・3階
(JR 両国駅 徒歩3分)
- ◆ブース展示・多言語による外国人なんでも相談・ミニステージ・シンポジウムなど
- ◆入場無料
- ◆問い合わせ/
TOKYO地球市民フェスタ'98事務局
電話: 03-3294-5370
FAX: 03-3294-5398

新星中学校夜間学級 日本語学級

世田谷区立新星中学校夜間学級の日本語学級では、日本語を学びたい学習者を募集しています。15歳以上の方ならどなたでも入学できます。

- ◆学習時間/月曜~土曜日
午後5:40~9:00
- ◆場所/世田谷区太子堂1-3-43
新玉川線 池尻大橋駅・三軒茶屋駅より
徒歩10分
- ◆申し込み・問い合わせ
新星中学校夜間学級
TEL: 03-3424-5255

外国人のための歌舞伎教室 "KABUKI for EVERYONE" のご案内

「第7回 外国人のための歌舞伎教室」が下記のスケジュールで開催されます。狂言・歌舞伎舞踊のほかに、日本語・英語・スペイン語による解説「歌舞伎の見方」もあります。日本の伝統芸能を紹介するいい機会ですので、外国人学習者にご案内ください。

- ◆日時/8月18日(火)・19日(水)
午後1:00~、午後5:00~
- ◆会場/芝メルパルク大ホール
(東京郵便貯金ホール)
港区芝公園2-5-20
- ◆入場料/D席 2000円、C席 4000円、
B席 6000円、A席 12000円
- ◆「歌舞伎の見方」日本語・英語・スペイン語による解説つき。
ロビーではフリートークもあります。
- ◆問い合わせ/外国人のための歌舞伎教室実行委員会事務局
TEL: 03-5420-4520(外国語対応)
FAX: 03-3447-3507

SPECIAL THANKS

★KDD 国際電信電話(株) 様

ニューズレターの印刷にご協力いただきました。

★東京都立

中部総合精神保健福祉センター 様

快く取材に応じていただきました。

メディアに見る TNVN情報

◆NHKサービスセンター 発行

『NHKウィークリー ステラ』

'98年5月8日号

日本語ボランティアとTNVNの紹介

Welcome! 新入会員のご紹介

◆正会員(団体)

あきる野市日本語サークル (あきる野市)

千駄ヶ谷日本語学習会 (渋谷区)

はんのう日本語クラブ (飯能市)

◆協力会員(個人)

小林 文人、関本 保孝、石原 弘子

◆賛助会員

ストーンフィールズ (敬称略)

'98年5月1日現在の会員数は、正会員74団体・協力会員108名・賛助会員11です。

事務局DIARY

先日のTNVN総会の後の懇談会の際に思ったことがある。

TNVNと所属グループそれぞれのおかれている状況を相互にフィードバックしつつ、より有機的に関係づけていくことが大事だ、といった趣旨の発言をしたあとで、これは私ではなくTNVN役員・事務局の方々が日々強く感じ、また苦心されていることではないか、と話し終えてすぐ思った。そして、2ヶ月に1回の運営委員会にさえ欠席しがちなスタッフが、毎月曜日に事務局業務を地道に続けているスタッフを前に、想像力を欠いた少々おこがましい発言だったかなとも思った。

私自身も所属するグループの事務局として(処理能力の不足は別として)たやすくいかない事柄に遭遇

し、日々他のメンバーと悩んでいるのが実情



だ。発言の内容の持つ皮相的危うさは分かっているつもりであった。にもかかわらず、この有り様である。

ボランティア活動の中での事務局(局)的な作業があまり好かれないのは、誰しも知るところだろう。実際、阪神大震災の時も直接に被災者との接点を持ち得ない部門へのボランティア希望者が圧倒的に少なかったと報告されている。

個人個人の自由意思に基づく自発的活動がボランティアの定義であるならば、その活動をマネジメントしていく部門は間接的であり、ある面では統制的姿勢にならざるを得ない。すなわち、その存在は必要不可欠にも拘わらず、孤立的であり、行動の現場からはあまり歓迎されないという現実がある。

それゆえ、周囲のスタッフにそのような状況下の仲間に対する真摯な想像力と眼差しがなければ、彼らをその責任のあまり「燃え尽き」てしまう袋小路へと追いつめてしまうことさえあるのではないかな。もちろん、それは事務方スタッフだけに限らないが。

藤田 義雄 (TNVN 監査)

編集後記

●そろそろ夏も間近に迫り、「富士山は？」と言う声が聞かれ始めています。一度だけの経験なので、もう絶対に登りません。誰か代わりに行って!!

パーラー

●学習者に聞かれるたびに、日本の伝統文化に関する知識の乏しさを痛感。だからというわけでもないけれど、和食、和服、邦楽…。すっかり和の世界に染まっている今日この頃です。

🐾 KYOKO

●お詫びと訂正

前号の「外国人のための生活ケア講座 総集編」のなかに誤りがありました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

東京YWCA「留学生相談室」

〒101 千代田区神田駿河台1-8

東京YWCA会館内

月～土(水を除く) 13:30～17:30



発行人/中田 紀子

編集人/前田 恭子

レイアウト/鶴田 環恵

TNVNとは

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993

年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。